

# L R P

R E P O R T



L E T ' S R E A D P R O J E C T  
R E P O R T

2016

## はじめに

『Let's Read Project(略称 LRP)』とは、本を読み、本の醍醐味を他者と分かち合い、図書館という空間をより広く体験することを目的として、2008年に発足された団体である。

主な活動として、図書・情報館に入ってすぐのLRP本棚では、本棚企画で集めた本を定期的に展示しており、大学祭ではビブリオバトルやコミックアゴラ、絵本の読み聞かせといった企画を開催した。

館外活動も、図書館見学ツアーや選書ツアーなどを毎年行っており、そういった行事の取り決めや相談を週一回のミーティングの中で行うと共に、メンバー同士の交流を深める機会も数多く設けている。

例年行っている本棚企画は特定のテーマを決め、そのテーマに沿った本を図書館内の蔵書から選んで展示し、紹介する催しだ。2015年度からはメンバーが増えたことによって、複数のテーマを同時に展示するようにもなり、今年度は彩り豊かな本が展示された。ちらっと横を見れば趣の異なる本棚があるため、今まで興味の無かった分野の本と巡り合うきっかけ作りにもなったであろう。

夏に行われた見学ツアーでは、米沢嘉博記念図書館と明治大学博物館を訪問した。前者ではまんとサブカルチャー、後者では主に考古学に関する展示を見学し、それぞれ趣の異なる世界を一度に堪能できる非常に有意義な一日となった。

秋の大学祭で開催したビブリオバトルの今回のテーマは“メディアミックス化された作品”であった。原作及びメディアミックス化された媒体における差異や深味を語らう場として、大きな賑わいを見せた。

同時に今年から新たに企画された絵本の読み聞かせも、親子連れの方から卒業生の方まで、幅広い層の来館者が訪れ、予想以上の反響をいただいた。色とりどりの絵本に目を輝かせる子ども達は勿論のこと、読み聞かせる側であるLRPメンバー達の声からも、絵本の世界へと没入する真剣さと楽しさが発せられており、その場にいる全員が心暖まるひと時を共有できた。

LRPメンバーの人数が飛躍的に増え、活動も活発化した喧騒の年であったといえよう。

本は個人で黙々と読むもの……と思われがちだが、その実あらゆる人達を繋ぐ架け橋となってくれるものではないだろうか。

本が人を繋ぎ、また繋がった人々の中で新たな本と廻り遇える。

巡り、廻って、人と本の世界へ彩りを与えていると考えれば、とても素敵な出逢いの連鎖であり、尚且つかけがえのない循環といえよう。

本誌は、そういった私達の一年間の活動報告であり、中には個性豊かなメンバー達が勧める本や、好きな小説の登場人物について紹介するコーナー等も設けられている。

廻りゆく本の楽しみを分かち合い、本を読む楽しみを外へも広げてゆくLRPの姿勢は、長いようで短き大学生活と図書・情報館の中に生じた、奇縁の渦潮といえよう。そして本誌もまた、奇縁の渦潮から生まれた一冊の本である。

昨今は読書離れの話題をよく耳にするものの、本誌『LRPレポート2016』をきっかけに、無数に広がる本の大海原へと出航する——若しくは、止まってしまっていた舵を再び取るきっかけとなっていたらLRPメンバー共々、冥利に尽きる。

さあ、それではページを捲り、旅に出よう。

総合文化学科2年 ジンジャー

# LRP REPORT

LET'S READ PROJECT REPORT

## CONTENTS

はじめに……………2

厳選POP……………4

LRP2016年度活動報告……………6

5/6(金)……………「新入生歓迎本棚2016」公開……………7

5/13(金), 5/16(月)……………「新入生歓迎本棚2016」  
公開記念プレゼンテーション開催……………8

7/8(金)……………「みんなの夏休み本棚」「未来本棚」公開……………9

8/19(金)……………米沢嘉博記念図書館・明治大学博物館  
見学ツアー2016……………10

11/5・6(土・日)……………「LRPイベントin和光大学祭」開催……………12

1/12(木)……………「心あたたまる本棚」「鳥本棚」公開……………14

2/6(月)……………第10回選書ツアー……………15

PICK UP BOOK……………16

登場人物推薦書……………18

LRPプロフィール……………20

今年度を振り返って……………22

表紙:「心あたたまる本棚」「鳥本棚」公開(2017年1月)にて

厳選  
POP

今年も、いくつもの企画本棚が公開され、  
本に添えるPOPも力作が集まりました。  
厳選したPOPをご覧ください。

涼やかな雰囲気が夏にぴったり！  
とても本の空気をつかんでいると思う。



『西の魔女が死んだ』  
梨木果歩著  
新潮文庫

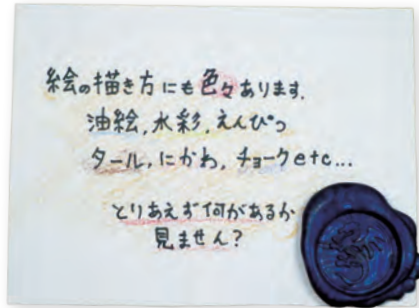


『シンデレラ・ティース』  
坂木司著  
光文社文庫

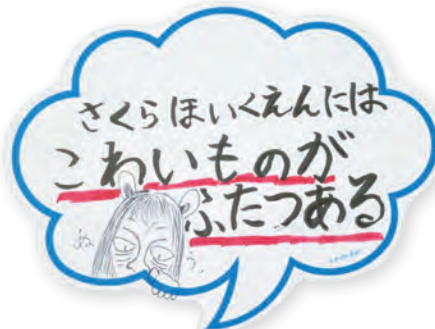


2色しか、カラーペンを用いていないにも関わらず、  
可愛らしく目を惹くセンスあふれるPOPです。

「やっぱりろう印に目が引かれた」



『絵画表現のしくみ』  
森田恒之 [ほか] 執筆  
美術出版社



「『ぬうっ!』本当にとび出してきそう!」



『おいしいぼうけん』  
ふるたたるひ、  
たばたせいちさく  
童心社



「アリスと一緒に過ごす夏」



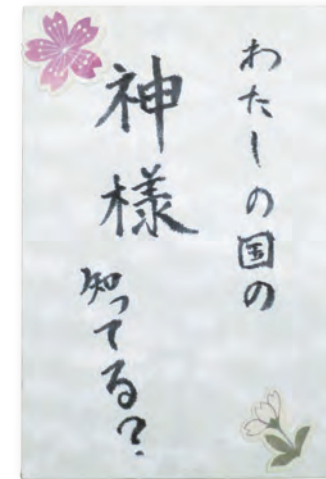
『不思議の国のアリス』  
ルイス・キャロル作  
臨明子訳  
岩波書店



「圧倒的インパクト!!!」



『真田昌幸』  
柴辻俊六著  
吉川弘文館



「和の雰囲気が好き」



『祝詞用語例辞典』  
加藤隆久、土肥誠、本澤雅史編著  
戎光祥出版

「月の形になっている所がGood!」



『よるのさんぽ』  
たむらしげる作  
架空社



# LRP 2016 年度活動報告

No.

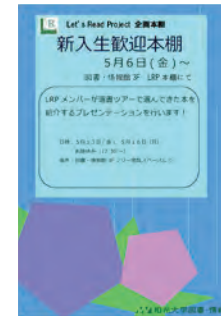
1



5月6日

## 『新入生歓迎本棚2016』公開

春休みに、LRP 学生メンバーで行った「選書ツアー」で購入した本に、オリジナル POP を付けて、本棚を作成しました。  
学生ならではの視点で選ばれた本を、どうぞお楽しみください。



### LET'S READ PROJECT

#### 『新入生歓迎本棚2016』ブックリスト

タイトル/著者ほか	出版社
1 真田昌幸/柴辻俊六著	吉川弘文館
2 蔡國強: 帰去来 = Cai Guo-Qiang: there and back again / 大谷薫子編	モ・クシュラ
3 マンガでわかる仏像: 仏像の世界がますます好きになる! / マンガでわかる仏像編集部編; 永田ゆきイラスト	誠文堂新光社
4 いきなり思い通りに撮れる! デジタル一眼レフカメラと写真の基本 BOOK / 大崎聡著	永岡書店
5 いまなら 1000 円で買える jazz 100 年の大名盤 500: ジャズの 1 世紀をポケットに! / 行方均, 坂本涼子監修; 津下佳子, 片野正健, 渡辺康蔵著	DU BOOKS
6 ふらっと朝湯酒 / 久住昌之著	カンゼン
7 山怪: 山人が語る不思議な話 / 田中康弘著	山と溪谷社
8 地方発明治妖怪ニュース / 湯本豪一編	柏書房
9 もうぬげない / ヨシタケシンスケ作	ブロンズ新社
10 幻想耽美: Japanese erotica in contemporary art: paintings, illustrations, dolls and more / 荒川佳織, 大小田陽平, 野口理恵編集	バイインターナショナル
11 神様になった動物たち: 47 種類の動物神とまつられた神社がよくわかる本 / 戸部民夫 [著]	大和書房
12 井上円了と柳田国男の妖怪学 / 三浦節夫著	教育評論社
13 どうぶつ家族 / 岩合光昭著	クレヴィス
14 クマたちの世界 = Bear world / 前川貴行著	青雫社
15 日本の神様読み解き事典 / 川口謙二編著	柏書房
16 祝詞用語例辞典 / 加藤隆久, 土肥誠, 本澤雅史編著	戎光祥出版
17 鉱物レシビ: 結晶づくりと遊びかた / さとうかよこ著	グラフィック社
18 四兄弟 (ドラゴン) 脱出行 / 田中芳樹 [著] (講談社文庫, 創竜伝 4)	講談社
19 りぼくら! / 西尾維新著	講談社
20 横浜謎解き散歩 / 小市和雄監修	中経出版
21 港町は「はじめて」がいっぱい! 横浜謎解き街歩き / 清水克悦著	実業之日本社
22 横浜洋館散歩: 山手とベイエリアを訪ねて	淡交社

### タイトル/著者ほか

タイトル/著者ほか	出版社
23 残穢 / 小野不由美著	新潮社
24 うれしいおくりもの / 杉浦さやか著	池田書店
25 ぼくは明日、昨日のきみとデートする / 七月隆文著	宝島社
26 けもの道の歩き方: 猟師が見つめる日本の自然 / 千松信也 [著]	リトルモア
27 フランス人は 10 着しか服を持たない: パリで学んだ「暮らしの質」を高める秘訣 / ジェニファー・L・スコット著; 神崎朗子訳	大和書房
28 「それ、根拠あるの?」と言わせないデータ・統計分析ができる本 / 柏木吉基著	日本実業出版社
29 おおきな木 / シェル・シルヴァスタイン作; 村上春樹訳	あすなろ書房
30 巷説百物語 / 京極夏彦 [著]; [正]	角川書店
31 巷説百物語 / 京極夏彦 [著]; 続.	角川書店
32 だましのテクニックの進化: 昆虫の擬態の不思議 / 藤原晴彦著	オーム社
33 マンション・インテリアの基本: ライフスタイルを生かす = Mansion interior: lifestyle / 大倉祥子監修	新星出版社
34 エラゴン: 遺志を継ぐ者 / クリストファー・パオリニ著; 大島双恵訳	静山社
35 エルデスト: 宿命の赤き翼 / クリストファー・パオリニ著; 大島双恵訳; 上	静山社
36 エルデスト: 宿命の赤き翼 / クリストファー・パオリニ著; 大島双恵訳; 下	静山社
37 灰かぶり / 甲田学人 [著] (電撃文庫; 1246 . 断章のグリム; 1)	アスキー・メディアワークス
38 ヘンゼルとグレーテル / 甲田学人 [著] (電撃文庫; 1284 . 断章のグリム; 2)	アスキー・メディアワークス
39 わるいうさぎ / 中島さなえ著	双葉社
40 うさぎ島: 会いに行けるしあわせ動物 / 福田幸広著	日経ナショナルジオグラフィック社
41 世界の美しい馬: チャンピオン馬のポートレートと特長 / リズ・ライト文; アン德里ュー・ペリス写真; 小宮輝之監修; 石田亜矢子翻訳	グラフィック社
42 ファンタジー世界の地図を描く / Jared Blando 著; B スブラウト翻訳	ポーンデジタル
43 I am Pusheen the cat / Claire Belton	Touchstone Books

『巷説百物語』  
京極夏彦 [著]  
株式会社 KADOKAWA



No.

3

7月8日

## 『みんなの夏休み本棚』『未来本棚』公開

夏の企画本棚は、ダブル企画です！

### ☞ 「みんなの夏休み本棚」

夏休み目前です！ 夏休みに読みたい本、読んでほしい本をメンバーが選びました。夏の予定がある人もない人も、ぜひ読んでみて！

### ☞ 「未来本棚」

未来を描いた本、未来に希望を託す本、未来を憂いた本など、「未来」をテーマに集めました。SF、ファンタジー、ノンフィクション…。さまざまな「未来」をのぞいてみませんか？

No.

2

5月16日

## 『新入生歓迎本棚2016』公開記念プレゼンテーション開催

春休みの選書ツアーに参加したLRP学生メンバーが、選んだ本の中から「おすすめの1冊」のプレゼンテーションを行いました。

2日間にわたって、合計8人のメンバーが、図書・情報館3階LRPコーナー前のフリー閲覧コーナーにて、「どうしてこの本を新入生に読んでほしいか」、「この本はここが面白い！」などなど、熱い思いを楽しく語ってくれました。その一部をご紹介します。



『どうぶつ家族』  
岩合光昭  
クレヴィス



『鉱物レシピ：  
結晶づくりと遊びかた』  
さとうかよこ著  
グラフィック社





8月19日

## 米沢嘉博記念図書館・明治大学博物館見学ツアー 2016

夏の見学ツアーは、8月19日に、  
明治大学の米沢嘉博記念図書館(まんがとサブカルチャー)と明治大学博物館の2ヶ  
所に行ってきました。学生メンバー13名とスタッフ2名、さらにサプライズで小  
関和弘館長も参加されました。



## 米沢嘉博記念図書館

米沢嘉博記念図書館は、まんが評論家であり、同時にまんが界の大イベント「コミックマーケット」準備会  
前代表として知られる米沢嘉博氏が収集したまんが雑誌・単行本・同人誌・風俗雑誌などが収められています。  
1F 展示室や閲覧室のほか、普段は一般公開されていない閉架書庫も特別に見学させていただきました。  
「まんが雑誌を見続けることによって、当時の社会・世相を垣間見ることができるので、研究材料としてもぜ  
ひ活用してほしいです」というスタッフの方の説明がありました。単なる娯楽ではない「まんが」の奥深さ  
を実感しました。



## 明治大学博物館

明治大学博物館では、主に「商品」「刑事」「考古」といった3つの部門に分かれた展示を、展示解説ボランティ  
アの説明のもと、見学しました。ボランティアの方々の丁寧な解説を聴いて、学生メンバーも、しばし考古  
学の魅力にふれたひとときでした。

1日で2つの施設の見学をする弾丸ツアーでしたが、異なるディープな世界を堪能した見学ツアーとなりました。

## メンバーの感想

米沢嘉博記念図書館では手に取ることはできませんでしたが、代  
表的な漫画雑誌の創刊当時を知る事が出来て感動しました。また、  
明治大学博物館では思いがけず、本や、写真でしか見たこと  
のない東西の処刑・拷問器具が見られてとても興奮しました。す  
てきなガイドさんのおかげで、より楽しめました。感謝します  
(総合文化学科2年 ノイン)

今回の体験で本を後世へ伝えていくことの大変さを改めて感じまし  
た。人が読まなければ意味が無いですが、人の手によって本は風  
化していってしまう、このジレンマが最大の問題だと思いました。電  
子書籍などがこの問題の解決になればいいなと思いました。また、  
明治大学博物館では拷問器具という非常に興味深いジャンルにつ  
いて知ることができました。(総合文化学科1年 満足餃)

米沢嘉博記念図書館では私は3つのブースを見てきた。その中でも、  
昔の漫画雑誌がずらりと並んでいるブースはとても印象に残った。  
実際に手に取ることはできないのだが、背表紙を見るだけでもその  
当何が人気だったのかわかる。宣伝方法にも時代を感じ、と  
ても興味深く見る事が出来た。(総合文化学科2年 an)

米沢嘉博記念図書館では、今では中々見ることのできない各漫画  
雑誌の創刊号やサブカルチャー情報誌などが保存されており、時  
代ごとの流行や表現などを詳しく知る事が出来た。また明治大学  
博物館では日本に古くからある生産品の製造工程や原料、更  
には世界の拷問、処刑法や用いられた道具のレプリカ等が展示され  
ていて、とても充実した時間を過ごす事が出来た。(総合文化学科1年 慧)

米沢嘉博記念図書館には古めの漫画本がたくさん置いてあり本  
の歴史を感じることができました。明治大学博物館では伝統工芸  
の壺や皿、埴輪や過去に使われていた拷問器具などの展示品を  
見せていただきました。非常に勉強になりました。  
(総合文化学科2年 もち)

今では名作と言われる作品の第1話掲載号を手に入れることが出来て、  
とても感動しました。娯楽であった雑誌を大量に保存することで、出  
版当時を知る事が出来る面白い資料になることを知りました。  
(総合文化学科2年 前途)



11月5・6日

『LRPイベントin 和光大学祭』開催



ミニビブリオバトル

テーマは「メディアミックス」。スピンオフなどを含め、さまざまな形で映像・舞台化などの形をとった本を、メンバーがプレゼンして、チャンプ本を決めました。2日間で2回開催しました。

チャンプ本は、『アルテミス・ファウル』（オーエン・コルファー著、大久保寛訳 株式会社 KADOKAWA）と『屍者の帝国』（伊藤計劃、円城塔著 河出書房新社）でした。



絵本読み聞かせ

司書課程を履修しているメンバーを中心に、子どもから大人まで楽しめる絵本の読み聞かせを行いました。2日間で計3回開催しました。『ぐりとぐら』『もうぬげない』など、さまざまな絵本を紹介しました。

LRP 初の試みでしたが、親子連れの方々など多くの方にご参加いただきました。

絵本の蔵書も多い和光大学ならではの企画でした。



『読み聞かせしたい絵本本棚』公開

大学祭イベントの絵本読み聞かせに合わせて、絵本展示を企画しました。

大人から子どもまで楽しめる、読み聞かせにぴったりの絵本を集めました。

ほのぼのからちょっぴりブラックなものまで、幅広い絵本の世界を楽しんでください！

まんが広場

メンバーお気に入りのまんがを持ち寄り、3Fフリー閲覧コーナーにて展示しました。



フリーペーパー

来場者の方に見ていただくため、フリーペーパー（わたしの選んだおすすめ本／LRPの紹介）を作成しました。

2016年度は、恒例の企画のほか、初めての試みがたくさんありました。

読み聞かせのために絵本を選書したり、子ども向けにPOPを工夫したり、メンバーは準備から片付けまで大忙しでしたが、一般の方々、LRPのOB・OGの参加もあり、充実したイベントとなりました。





1月12日

## 『心あたたまる本棚』『鳥本棚』公開

今年度最後の企画本棚は、ダブル企画です！



### 「心あたたまる本棚」

冬本番を迎え、寒さが身に沁みるこの頃。

読んだ後、心が温くなる本を集めました。

本の中で出会った、思わず「ほっ」とするようなひとときをお届けします。



### 「鳥本棚」

2017年は酉年です。

それにちなんで、「鳥」に関する本を集めました。

No.

6

No.

7

2月6日

## 第10回 選書ツアー

春に入学する新入生に向けての本棚作りのため、選書ツアーに行ってきました。毎年お世話になっている紀伊國屋書店新宿本店で実施しました。メンバー13名が参加しました。ツアー前から下調べなど、準備しました。当日は、店内で1時間の選書の後、イベントスペースをお借りしてのプレゼンです。メンバー同士で、選んだ本の紹介をした後、感想を交換します。「こういう本があるんだね」「その本、私も読みたい！」など、新たな世界の発見もあったひとときでした。



### メンバーの感想

毎回のことながら、皆それぞれの視点で本を選んでいて、視点の違いが楽しかったです。今回はちゃんと新入生におすすめしやすい本を選べたと思います。(経営学科4年 諒)

あれもいい、これもいいと棚を見ているだけでワクワクしました。楽しかったです!(総合文化学科2年 前途)

初めての参加で、とてもおもしろかったです。次も楽しみです。(総合文化学科2年 ノイン)

他の参加者の選んだ本がとても面白そうだと感じた。選書ツアーは自分が選ばない分野の本に触れられる良い機会だと思う。(総合文化学科2年 an)

紹介された本で知らない本でも、読んでみたくてしまうのが楽しい。(総合文化学科2年 ムニン)

選書のコツを押さえた本選びの難しさを痛感しましたが、今までやったことのない選び方なので、とても新鮮でした。(芸術学科2年 壱五)

来年はもっと候補の本を多くしておきたいと反省。(総合文化学科2年 ジンジャー)

大学のために選書をするのは思ったより難しいと実感。(心理教育学科2年 もちづき)

「自分の好きな本」かつ「誰かにすすみたい本」を選ぶのは楽しかったです。(心理教育学科2年 納戸色)

大型書店に訪れた経験が殆どなかったので、各分野の書籍の量に驚いた。(総合文化学科1年 慧)

久しぶりに大きな書店に来ましたが、やはりたくさん本を見ると本当にワクワクしました。最近では本もインターネットで購入されることが多いようですが、やはり実物を見ることが出来る書店の存在は大切だなと改めて感じました。(総合文化学科1年 満足餃)

1時間は結構短くて、選ぶのが大変だった。人によって見ているところが違って、様々な本が選ばれていて面白かった。(芸術学科1年 都)



# PICK UP BOOK

LRPメンバーおすすめの本をご紹介します。  
渾身のおすすめコメントと併せて、お楽しみください。



## 『話虫干』

小路幸也著／筑摩書房／245p

本の内容を勝手に変えてしまう〈話虫〉を〈虫干し〉するため、図書館員である主人公は夏目漱石の『こゝろ』の物語の中に入り込み、上司と一緒に〈話虫〉を探す。斬新な設定で、今まで教科書でしか『こゝろ』を読んだことが無い人でもこの本を読めばきっと『こゝろ』を読みたくなります。所謂神の視点を持つ主人公の視点と『こゝろ』の登場人物の視点で二倍楽しめます。(総合文化学科2年 もち)



## 『キケン』

有川浩著／株式会社 KADOKAWA / 356p

成南電気工科大学機械制御研究部、略して『キケン』。そこで爆発物のような先輩や「大魔神」なんてあだ名の先輩に囲まれて、語り部元山君がツッコミを入れる。初出「小説新潮」掲載時と同じ表紙がそれぞれのストーリーに添えられ、漫画テイストなコマ割りを見ているだけで面白い。私たちと同じ大学生が、全力で楽しんでいる一冊。(総合文化学科2年 前途)



## 『堆塵館』

エドワード・ケアリー著 古屋美登里訳／東京創元社／427p

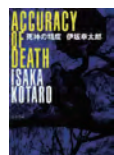
ゴミによって生き、ゴミの中に建つ堆塵館で暮らす、アイアマンガー一族。その中でも物が発する声が聞こえる特殊能力を持つため、つまはじきになっている少年クロッド。ある日ルーシーというメイドが館にやってきたことで大変な騒動が勃発する。とにかく不思議な小説である。万人受けする小説ではないし、ページ数もそこそこあるが、我こそはと思う御仁は是非。(総合文化学科2年 ノイン)



## 『世界から猫が消えたなら』

川村元気著／マガジンハウス／221p

郵便配達員である主人公は、ある日医者から余命があとわずかと宣告を受ける。そんな時、一人の悪魔が彼の目の前に現れ、「この世から一つ物を消す代わりに君の寿命を一日のばす」という話を持ち掛けられる。主人公はこの話を受け、様々なものを消していく。物語のテンポがよく、とても読みやすく面白い。だが、深く考えさせられる物語だ。物語の最後、彼はどんな答えを見つけたのか。ぜひ、その目で確かめてもらいたい。(総合文化学科2年 an)



## 『死神の精度』

伊坂幸太郎著／文春文庫／345p

CDショップに入りびたり、どこか異質な雰囲気を感じている死神の男干葉は、今日も雨と共に人と関わり、死の可否の判断を下す。残酷なようで心優しい物語。(総合文化学科2年 ムニン)



## 『さよなら、シリアルキラー』

バリー・ライガ著 満園真木訳／東京創元社／414p

シリアルキラーである父親に殺人の英才教育を受け、殺人者の心が分かる特異な少年へと育った主人公のジャズが、田舎町を舞台に幕を開ける連続殺人事件の謎を追いかけてゆくミステリー小説。推理小説が好きな方には勿論のこと、少年少女の瑞々しい青春に友情と恋愛、シリアルキラーの心理などに興味がある方にも、ぜひオススメしたい。(総合文化学科2年 ジンジャー)



## 『夜は短し歩けよ乙女』

森見登美彦著／株式会社 KADOKAWA / 301p

大学生の主人公「先輩」と、「先輩」が惚れ込んでいるヒロイン「黒髪の乙女」の2人が語り手となり、京都を舞台にして作品が展開される。春夏秋冬になぞらえた4つの章を、語り手の2人と、個性的なキャラクターたちが彩り、交差してゆく。その軌跡は「先輩」と「黒髪の乙女」のすれ違いや、キャラクター達が巻き起こす事件によって、基盤の目が構築されていくようである。(心理教育学科2年 もちづき)



## 『チャリング・クロス街84番地：書物愛する人のための本』

ヘレン・ハンフ編著 江藤淳訳／中公文庫／233p

ニューヨークに住む著者が、ロンドンの古書店マーク社にあって、1通の手紙を送る。そこからはじまった、20年にわたる実際の手紙のやり取りをまとめた作品です。手紙のやり取りから伝わる両者の本に対する熱意と愛情は、本が好きな人間であれば必ずどこか共感できるものがあるはず。正に書物愛する人のための本。(心理教育学科2年 納戸色)



## 『浜村渚の計算ノート』

青柳碧人著／講談社文庫／292p

数学が嫌いとして学校教育から外されてしまった現代日本を舞台に、数学の復活を望むテロ組織に立ち向かう天才数学少女を描く物語です。数学が好きな人は勿論オススメですが、物語には数学に疎い登場人物も多いため、数学が苦手な人にもオススメです。ぜひ「数学」の入り口にしてください。(心理教育学科2年 納戸色)



## 『ツナグ』

辻村深月著／新潮社／316p

死んでしまった友人や恋人や家族に会いたいと願う人に一夜だけその願いを叶える力を持つ「ツナグ」。その役割の次期継承者となる主人公が、依頼人やその人たちが会いたいと願う死者と関わっていく中で、「ツナグ」の意味やその役割を見出していく。(総合文化学科2年 発火のど鈴)



## 『神様の御用人』

浅葉なつ著／株式会社 KADOKAWA アスキー・メディアワークス (メディアワークス文庫) / 284p

主人公・萩原良彦はある日、狐の姿をした神・黄金に神様の御用を聞いて叶えるという『御用人』に任命される。現代社会を生きる普通の人間である良彦が一癖も二癖もある神々に振り回されながらも、様々な答えを出していくという物語である。日本の神話や民話に登場する神様の願いを叶えるという内容なので、その分野の知識があるとさらに楽しめるかもしれない。(総合文化学科1年 慧)



## 『桜子さんの足下には死体が埋まっている』

太田紫織著／株式会社 KADOKAWA / 275p

高校生・館脇正太郎は、良家のお嬢様であり、『骨』をこよなく愛する標本士でもある九条櫻子と、ある時から交流を持つようになる。彼らは様々な人の死に絡む事件に遭遇し、検死官の技能を持つ櫻子と共に正太郎はそれに向き合っていく。ミステリーというジャンルはすっきりしないオチが多いように思うが、この作品はかなりの確率で後味が悪いので、人を選ぶ作品になってくる。(総合文化学科1年 慧)



## 『タイムマシン』

ウェルズ著 池央歌訳／光文社古典新訳文庫／225p

今どこでも知ってるタイムマシン、その元祖がこの本です！世界初の時間旅行であるこの物語では主人公は80年後の未来へ行きます。そこで主人公は小人となった人間たちに出会います。最初こそ平和な理想郷だと思っていた主人公ですが、やがてこの世界の秘密に気づき…！SF好きにおすすめな1冊です。(総合文化学科1年 満足鮫)



## 『モルグ街の殺人』

エドガー・アラン・ポー著 巽孝之訳／新潮文庫／280p

皆さんは好きなジャンルの最初の作品はどんなのだったか？と思ったことはないでしょうか？この作品は世界初のミステリーです。この本が書かれたのは1841年と170年以上も前ですが、現代のミステリーに通ずる部分が沢山あります。ミステリーが好きなら「最初の作品からこれはあったのか！」と楽しめる1冊です。(総合文化学科1年 満足鮫)



## 『魔法使いハウルと火の悪魔』

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ作 西村醇子訳／徳間書店／310p

言わずと知れたジブリ映画の原作。主人公のソフィーが「自分は長女だからなにもできない！」と嘆くところに現れた一人の魔女が、そんなソフィーの一生を変えていく。魔法が存在するインガリー国。一体何が起きるのか？文庫や児童書として出版されており、幅広い年齢層におすすめ。また映画との違いを探してみるのも楽しいかもしれない。(芸術学科1年 都)



## 『明るい夜に出かけて』

佐藤多佳子著／新潮社／284p

社会にうまくなじめない若者が、人との繋がりの中で成長していく物語。この本は、実際に存在したラジオ番組を軸にしているので、ラジオ好きなら読むべき！一冊です。ラジオで人と人が繋がるって、いいなあ。ただ、ラジオ全く聞かない人は少々取り残されるかも…。(総合文化学科1年 ねりものちゃん)

# 登場人物推薦書

物語の中で光り輝く登場人物。初めて読んだ時の強烈な印象が忘れられない。

そんな、メンバー一押しの人物を「履歴書」風にご紹介します。

必死にもがく姿		名前 ジョン・H・ワトソン	
住所(登場する本) 屍者の帝国(河出書房新社)		親(著者) 伊藤計劃×円城塔[著]	
年齢 医学生	性別 男性	特技 屍者技術	
来歴 ロンドン大学の優秀な医学生。ジャック・セワード、エイブラハム・ヴァン・ヘルシングの密命で最初の屍者ザ・ワンを追うことになる。貸し与えられた屍者フライデー、協力者バーナビーと共に旅をする。			
推薦動機 最初は巻き込まれただけだった彼が、屍者とは何か、屍者技術とは何かを考えながら苦しみ悩む姿は大変人間らしい。2015年に映画が公開され、ここではフライデーとの関係性が大きく変えられたことにより、目的をもって旅に赴くことになる。それでも足掻く彼を見つめることで、私たちも考えさせられることだろう。(推薦者:総合文化学科2年 前途)			

探偵を一途に支える友人 <sup>モナミ</sup>		名前 ヘイスティングズ	
住所(登場する本) スタイルズ荘の怪事件(早川書房)等		親(著者) アガサ・クリスティー[著] 矢沢聖子[訳]	
年齢 30歳(「スタイルズ荘の怪事件」当時)	性別 男性	特技 物事の本質を“たまに”見抜く	
来歴 第二次世界大戦で負傷。療養のため滞在了スタイルズ荘でポアロと再会。「ゴルフ場殺人事件」で出会った女性と結婚。アルゼンチンへ移住。たまに帰国してはポアロを手伝う。			
推薦動機 ミステリの女王クリスティーが生み出した探偵ポアロの友人ヘイスティングズ。登場作品は多くないが、一度読んだら忘れられない。思い込みが激しいなど、読者が感情移入する役割である語り手が、むしろやれやれと思いつつもずっと友人であるポアロの目線になっているところが良い。そんな憎めない所が彼の一番の魅力だと思う。(推薦者:総合文化学科2年 ノイン)			

健気で強かな、その姿が愛おしい <sup>したた</sup>		名前 福寿愛美(ふくじゅ・えみ)	
住所(登場する本) ぼくは明日、昨日のきみとデートする(宝島社)		親(著者) 七月隆文[著]	
年齢 専門学校生	性別 女性	特技 料理	
来歴 美容師の専門学校生。食べるのが好きで、少し泣き虫。春に駅で南山高寿に声をかけられ、付き合うことになる。大きな秘密を抱えている。			
推薦動機 気配り上手な美人さん。でも泣き虫で寂しがり屋。女の子らしいけど、それが鼻につかない所が「素敵だな。」と感じた。またとても気配り上手で、こんな子と友達になれたらと思う。そして、彼女は大きな苦しみを抱えているのだが、それと向き合う真っ直ぐな姿に胸を打たれる。(推薦者:総合文化学科2年 am)			

女の子と龍の絆		名前 ピン、ロン・ダンザ	
住所(登場する本) ドラゴンキーパー 最後の宮廷龍(金の星社)		親(著者) キャロル・ウイルクソン[作] もきかずこ[訳]	
年齢 [ピン] 十歳 [ロン・ダンザ] 老齢	性別 [ピン] 人間の女性 [ロン・ダンザ] 龍の男性	特技 [ピン] 龍と会話ができる。 [ロン・ダンザ] 物事を教えるのが上手。	
来歴 ヒロインの女の子、ピンは奴隷として宮廷で飼われている龍の世話をしていた。彼女は龍のほんとうの言葉を聴くことができ、ある日を境に飼育されていた最後の生き残りの龍と絆を結んでゆく。			
推薦動機 本作品は龍のダンザと出逢い、宮廷を抜け出して彼と旅をするにつれ、生きるとは何かを体験してゆく奴隷であった少女、ピンの成長物語である。その過程の微笑ましさこそ推薦動機であり、好奇心旺盛なピンと世話焼きなダンザの、さながら種族を越えた父親と娘のようなやり取りには、暖かな想いで胸一杯にさせられる。(推薦者:総合文化学科2年 ジンジャー)			

「さいわい」の意味を問う願いと想いを考えさせられる二人		名前 ジョバンニ、カムパネルラ	
住所(登場する本) 銀河鉄道の夜(株式会社KADOKAWA)		親(著者) 宮沢賢治[著]	
年齢 思春期前の少年	性別 男性	特技 [ジョバンニ] 空想好き [カムパネルラ] 優等生	
来歴 お祭りの夜、一人さびしく丘の上にいるジョバンニの耳に銀河ステーションのアナウンスが響く。唐突に始まったのは鉄道の窓から銀河を臨むカムパネルラとの二人旅だった。			
推薦動機 裕福で人気者の幸せに見えるカムパネルラ。貧乏でからかわれるの不幸に見えるジョバンニ。二人の旅は星々の美しい景色や様々な乗客との出会いを経て「さいわい」を探す旅となっていく。どこまでも共に行こうというジョバンニの想い、さいわいを探すカムパネルラの願いの関係は、読者の思考を命と銀河の彼方へと運ぶだろう。(推薦者:心理教育学科2年 納戸色)			

病に侵されても懸命に生き抜く姿		名前 節子(せつこ)	
住所(登場する本) 風立ちぬ(講談社)		親(著者) 堀辰雄[著]	
年齢 推定20代	性別 女性	特技 絵	
来歴 主人公の「私」と婚約。結核を患い、F高原のサナトリウムへと転地療養のため移動。以降は、サナトリウムの病室で生活する。			
推薦動機 彼女と、小説書きの主人公「私」の二人によって物語は進む。だから彼女はもう一人の主人公と言える。肺を患いかなりの重症であると診断されるも、悪戯っぽい微笑みを見せたり、父親が見舞いに来れば嬉しそうに目を輝かせたり明るい表情を見せる。「私」へ向ける愛の美しさ、ひたむきさが何ともいじらしく魅力的な女性だ。(推薦者:芸術学科2年 巻五)			

元暗殺者で今は高校生というギャップ		名前 ヴァンツアー・ファロット	
住所(登場する本) 天使たちの課外活動(中央公論新社)シリーズ等		親(著者) 茅田砂胡[著]	
年齢 高校生	性別 男性	特技 暗殺	
来歴 主人公を殺すために刺客として遣わされた。その後、魂だけ連れて行かれ、主人公の元居た世界で高校生になる。勉強や運動の才能を発揮した。			
推薦動機 普段は無表情の彼が感情を露わにすると驚く感動する。他人には無関心だが、友人やその家族の危機とあらば自分のことは顧みずに解決に尽力する。クールな彼が一生懸命に頑張る姿に心打たれる。彼が出てくるシリーズには他にも個性豊かなキャラクターが沢山登場するので、もっと多くの人に作品を知ってほしい。(推薦者:芸術学科1年 都)			

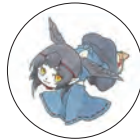




【所属学科】総合文化学科【学年】4年【ペンネーム】月兎  
 【好きな本】グリム童話【好きな言葉】備えあれば憂いなし【かなえない夢】本の編集者になることです【読書のおとも】紅茶や抹茶ラテ【これから読んでみたい本】現代小説【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】啓文堂



【所属学科】経営学科【学年】4年【ペンネーム】諒  
 【好きな本】神話系、雑学系、短編集など【好きな言葉】やらなかった後悔よりやった後悔のほうがいい【かなえない夢】ヨーロッパに旅行に行きたい【好きな授業(担当講師/理由)】「ドイツ文学を読む」(酒寄進一先生/一つの作品について歴史的背景、作中の時代のこと等、自分ではわからないことがわかるから)【読書のおとも】鉛 or ガム【これから読んでみたい本】写真の技術指南書、歴史の本【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】有隣堂、文教堂、紀伊國屋書店



【所属学科】総合文化学科【学年】2年【ペンネーム】藤原大介  
 【好きな本】『はてしない物語』M・エンデ【好きな言葉】なせばなる、なさねばならぬ【かなえない夢】「自分は生きていてもいい人間だ」と思えるようになること。【好きな授業(担当講師/理由)】「ギリシア神話を読む」(松村一男先生/元々ギリシア神話を好んで読んでいたが、先生の講釈付きで読むと新たな発見があり面白い)【読書のおとも】アールグレイ【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】有隣堂書店



【所属学科】総合文化学科【学年】2年【ペンネーム】もち  
 【好きな本】坂本司全般、香月日輪全般【好きな言葉】地獄の沙汰も金次第【かなえない夢】お金持ちになる【好きな授業(担当講師/理由)】(松村一男先生の授業全般/趣味に合うから)【読書のおとも】かっぱえびせん【これから読んでみたい本】新書、分厚い本【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】三省堂書店



【所属学科】総合文化学科【学年】2年【ペンネーム】前途  
 【好きな本】『屍者の帝国』伊藤計劃×円城塔【好きな言葉】心の中に海がある/心はいつも航海をゆるされる【かなえない夢】縁側で熱いお茶をすすりながら猫を愛でる【好きな授業(担当講師/理由)】「近現代の文学」(小関和弘先生/一人称ひとつも考察を重ねる面白さを知った。あと先生が最高にかわいい)【読書のおとも】自家製茶。あと冬なら湯たんぽ。【これから読んでみたい本】『ハーモニー』伊藤計劃【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】啓文堂書店



【所属学科】総合文化学科【学年】2年【ペンネーム】ノイン  
 【好きな本】主にミステリ。特にアガサ・クリスティ等イギリスのもの。最近ドイツ、北欧もよいと思っている。グループ、シーラハハは至宝。【好きな言葉】全速力で前進あれのみ【かなえない夢】ヨーロッパに行って本を買う。【好きな授業(担当講師/理由)】「ドイツ語」(酒寄進一先生/言語にじっくり浸れるから)「視覚芸術論」(三上豊先生/映画にどっぷり浸れるから)【読書のおとも】クランック。パッハが特に良い。【これから読んでみたい本】『戦争と平和』トルストイ【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】神保町の本屋、羊頭書房



【所属学科】総合文化学科【学年】2年【ペンネーム】猫瑠  
 【好きな本】『図書館危機』有川浩【好きな言葉】悠々自適【かなえない夢】馬主、引きこもりが許される環境【好きな授業(担当講師/理由)】「恋愛と結婚の心理学」(高坂康雅先生/自分の中の「普通」が勘違いだということに気が付き面白かったため)【読書のおとも】無し。何も食べず飲まず黙々と。【これから読んでみたい本】『優駿』宮本輝【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】久美堂、ブックオフ



【所属学科】総合文化学科【学年】2年【ペンネーム】an  
 【好きな本】『都会のトム&ソーヤ』はやみねかおる『銀魂』空知英秋【好きな言葉】自分をよく見せようと思っちゃダメ!! ハジメ外聞も何もかもすべて「どうにでもしやがれ!!」精神でぶつからないと!【かなえない夢】pixivに自分の絵をのせること。【好きな授業(担当講師/理由)】「地域デザイン」(小林猛久先生他4名/朝がとて早い朝が、畑での土いじりは楽しい。畑から見る晴れた空はとて綺麗で癒される)【読書のおとも】明かり、お茶【これから読んでみたい本】『恋歌』朝井まかて【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】地元の図書館、文星堂



【所属学科】総合文化学科【学年】2年【ペンネーム】ムニン  
 【好きな本】村山早紀作品全般。特に『シェラピメのぼうげん』【好きな言葉】明日は明日の風が吹く【かなえない夢】想像力を生かした仕事に就くこと【好きな授業(担当講師/理由)】松村一男先生の授業全般。神話により明確な興味がわく。【読書のおとも】昆布【これから読んでみたい本】海外のファンタジー小説をもっと読みたい。【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】くまざわ書店



【所属学科】総合文化学科【学年】2年【ペンネーム】ジジジャー  
 【好きな本】『ドラゴン・ライダー』C・パオリニ『断章のグリム』甲田学人【好きな言葉】製作者は着想を得る瞬間のために生きている。それは貴重で、玄妙で、感無量の時だ。【かなえない夢】遠き未来を体験してみたいのでコールドスリープ【好きな授業(担当講師/理由)】「ファンタジーと昔話」(酒寄進一先生/先生の広い見識と活き活きとした口調から語られる授業はいつも和気藹々としています)【読書のおとも】紅茶、ミルクの配分を少しずつ調整して飲むのが最近のブーム【これから読んでみたい本】『西の善き魔女』荻原規子【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】多摩センターの丸善



【所属学科】心理教育【学年】2年【ペンネーム】もちづき  
 【好きな本】『夜は短し歩けよ乙女』『四畳半神話大系』森見登美彦【好きな言葉】弱肉強食【かなえない夢】宝くじを当てて、髪の毛を染めること、欧州旅行(特に東欧)【好きな授業(担当講師/理由)】「青年心理学」(高坂康雅先生/「青年」という色々曖昧な時期を心理学の観点から切り込んでいく授業。専門知識が一切なくても楽しめる)【読書のおとも】森永のココア、作品の雰囲気に合ったBGM【これから読んでみたい本】貴志祐介作品、三浦しをん作品【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】あおい書店、ヴィレッジ・ヴァンガード、Amazon.



【所属学科】心理教育学科【学年】2年【ペンネーム】納戸色  
 【好きな本】『人類は衰退しました』田中ロミオ【好きな言葉】やりたい事とやるべき事が一致する時、世界の声が聞こえる。【かなえない夢】一人暮らしで猫を飼う(くらの経済力が欲しい)。【好きな授業(担当講師/理由)】「恋愛と結婚の心理学」(高坂康雅先生/感情で捉えがちなことに理屈で切り込んでいく新鮮さが面白い)【読書のおとも】カフェオレ【これから読んでみたい本】ハリポッターシリーズ【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】(新刊も取り扱う方の)ブックオフ



【所属学科】芸術学科【学年】2年【ペンネーム】杏五  
 【好きな本】『雪國』川端康成【好きな言葉】私は死ぬ前に一回でいいから、他人を信用して死にたいと思っている【かなえない夢】日本庭園で鯉を飼い、猫と暮らす【好きな授業(担当講師/理由)】「ギリシア神話を読む」(松村一男先生/神話が好きだから)【読書のおとも】お茶【これから読んでみたい本】『蟹工船』小林多喜二【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】紀伊國屋書店



【所属学科】総合文化学科【学年】2年【ペンネーム】発火のど飴  
 【好きな本】『ハリポッター』シリーズ【好きな言葉】自業自得【かなえない夢】お嬢さん【好きな授業(担当講師/理由)】「結婚と恋愛の心理学」(高坂康雅先生/既存の価値観をいい意味で壊してくれる)【読書のおとも】一口サイズのチョコ【これから読んでみたい本】『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』七月隆文【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】有隣堂



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【ペンネーム】慧  
 【好きな本】『神様の御用人』浅葉なつ【好きな言葉】上には上がいる【かなえない夢】他人の期待に応えられるようになる【好きな授業(担当講師/理由)】「宗教思想論」(津田博幸先生/元々宗教の教えや倫理観に興味があり、今まで知らなかった事を知ることができる)【読書のおとも】ゲームのBGM【これから読んでみたい本】神話・信仰・民俗系の本【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】三省堂書店



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【ペンネーム】満足鮫  
 【好きな本】『アクロイド殺し』A・クリスティ『モモ』M・エンデ【好きな言葉】満足【かなえない夢】壁一面本棚の部屋を作る。【好きな授業(担当講師/理由)】「日本文化に分け入る」(津田博幸先生/色々なところから資料を引っばってくるので興味がつきない)【読書のおとも】ソファ【これから読んでみたい本】『そして誰もいなくなった』A・クリスティ【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】有隣堂



【所属学科】芸術学科【学年】1年【ペンネーム】都  
 【好きな本】『王女グリンダ』茅田砂胡【好きな言葉】三三様【かなえない夢】本棚が天井まである家に住む【好きな授業(担当講師/理由)】「日本マンガ史」(三上豊先生/当時の流行やなにかがあったのかを当時の漫画を通して知れる)【読書のおとも】コーヒー、クッション【これから読んでみたい本】『アルスラーン戦記』田中芳樹【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】バサラブックス(吉祥寺/古書店)



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【ペンネーム】ねりものちゃん  
 【好きな本】『きらきらひかる』江國香織【好きな言葉】休日【かなえない夢】欲しい本、CD等を欲しい時に買う生活を【好きな授業(担当講師/理由)】言語学に興味があります【読書のおとも】コーヒー【これから読んでみたい本】外国文学【好きな本屋or図書館(本を入手する場所)】最寄駅のリブロ



## 今年度を振り返って

LRP メンバーの声

今年はあまり普段の活動に参加できませんでした。施設見学や大学祭でのビブリオバトルなど様々なイベントに参加させていただきました。来年こそはミーティングで意見を出すなどもっと積極的にLRPの活動に参加したいです。

(総合文化学科2年 もち)

今年度はフレッシュマンフェスティバルに始まり学祭でも新しい企画が上がるなど、大変なことも多かったのですが、その分達成感のようなものが大きかったです。新入生もたくさん入ってくれてほっとしました。来年は今年度の反省を生かしてもっといいもの創りたいです。

(総合文化学科2年 前途)

二年目で初めて図書館見学ツアーに行くことができ、楽しかったです。また、今回の学祭で読み聞かせという新しい試みが出来たことも収穫でした。様々な活動を通して今年もたくさんの本たちと出会えました。来年も楽しみです。

(総合文化学科2年 ノイン)

今年度の学祭では、昨年度のアゴラ・ビブリオバトルに加えて、新しい試みとして絵本読み聞かせを行いました。予想以上に子ども連れの家族が聞きに来てくれて、うれしかったです。来年度もやれたらいいなと思いました。

(総合文化学科2年 an)

部員との交流で今まで手を出さなかったようなジャンルの本を読んだり、知識を得たりしたので、すごく充実した一年でした。

(総合文化学科2年 ムニン)

実は1年生の頃から入部したいと思っていました。しかし人見知りするので中々入れませんでした。今年度の5月くらいにようやく入ることができて、楽しい日々を過ごせました。一步踏み出してみるもんだなあとしみじみ思いました。

(心理教育学科2年 もちづき)

友人に誘われるままLRPに入り、様々なことを体験した年でした。メンバーは個性豊かな人ばかりで楽しいです。新入りということでお世話になってばかりだったので、来年は積極的にLRPに貢献したいです。

(心理教育学科2年 納戸色)



この1年LRPで私はとても貴重な経験ができました。最初は図書委員の延長線くらいにしか考えていましたが、自分たちで本棚だけでなく、ポップを作ったりと楽しく、色々なことを学びました。司書を目指している身としては来年はさらに図書館について理解を深めたいです。

(総合文化学科1年 満足鮫)

入ったばかりで右も左も分からないまま過ぎていった一年でしたが、優しい先輩方に恵まれ楽しく過ごせました。ビブリオバトルで選ばれたのがとても嬉しかったです。来年はもっと活動の役に立てるようになれればと思います。

(芸術学科1年 都)

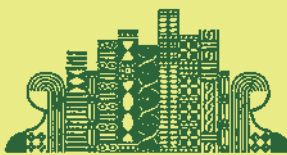
フレッシュマンフェスティバルでLRPを知った時からここに入ろうと決めていたのですが、自分の想像以上に充実した一年でした。学祭で担当した絵本の読み聞かせは反省点もありましたが、聞いてもらえるように努力したことが報われる充実したものになりました。

(総合文化学科1年 慧)

大学に入って、たくさん本を読もうと思っていたのに、一年で大して読めなかったのが後悔…。二年になったら、読めるだけ読みたい。

(総合文化学科1年 ねりものちゃん)





LRPルームは、図書・情報館2Fです。  
「開室中」であれば、メンバーが中にいます。  
気軽に声をかけてください。



LRPレポート2016 Let's Read Project 2016  
2017年3月18日発行

[編集]「LRPレポート」編集委員会 [発行]和光大学附属梅根記念図書・情報館  
〒195-8585東京都町田市金井町2160 TEL: 044-989-7494 E-mail: library@wako.ac.jp